

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和 3 年 3 月 18 日 公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		個々の特性や課題によって、個室やパーテーションの利用を合わせた空間を利用するようにしています。	COMPASS の特徴の一つが、言語療育に特化していることであり、集中しやすい環境づくりに配慮してまいります。
	2	○		法令で定められた以上の人員配置で対応しており、その全員が有資格者です。	今後も同様に、適切な人員を確保・配置してまいります。
	3	○		遊び・個別指導・集団活動のスペースを分けた活用でわかりやすい構造化に努めています。 現時点は車椅子利用の児童の受け入れはありますが、室内に段差がなく、机を移動して動線を確保できるので、車椅子での移動に問題はありません。	今後も生活空間は児童にとってわかりやすく構造化され、また、個々の特性に応じた過ごしやすい環境への配慮も合わせて工夫してまいります。 車椅子等利用の児童の利用希望を受けた場合には完全なバリアフリー化への検討を行ってまいります。
	4	○		常勤、非常勤を問わず全職員が業務に関する課題を出し合い、改善策を話し合う環境づくりに努め、話し合いの機会を設けています。	今後も定期的に会議を開き、共通認識と意思統一の徹底を図り、意見交換を行い、業務改善を目指します。
業務改善	5	○		定期的に、アンケートによる評価を実施しています。	今後も全職員で共通認識を持って業務改善に取り組みます。
	6	○		保護者様からの評価、並びに事業所の自己評価の結果は COMPASS の公式 Web サイトで公開しています。	今後も毎年 Web 上で自己評価の公開を行なってまいります。
	7	○		各部署会等の会合で、他事業所から助言を頂いていますが、現時点では第三者による外部評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題と致します。
	8	○		事業所内研修など資質向上のための勉強会は定期的に行っています。 また外部研修は、コロナウイルスの影響でリモートでの研修に参加し、学んだことは全職員に周知し、共有できるように、更に事業所内研修を行っています。	今後も各種研修には積極的に参加し職員の資質の向上に努めます。
適切な支援の提供	9	○		アセスメントの実施で、保護者様のご意向を伺い、また相談支援事業所や園等と、定期的な担当者会議等で情報を共有した上で、児童の課題を検討、分析を行い、支援計画を作成しています。	今後も定期的なアセスメントを行い児童の現況や変化を踏まえ、方向性を考えてまいります。
	10	○		モニタリング時には、統一化されたアセスメントシートを使用して状況を把握し、保護者様のご意向も確認しています。	今後も継続して正確にアセスメントできるよう、病院や関係機関の診断や発達検査結果等も取り入れてまいります。
	11	○		支援計画をもとに、全職員で意見を出し合い、立案しています。	今後も計画に沿った支援が行われるよう、チームで立案を行なってまいります。
	12	○		児童の特性に合わせながら、季節感のある生活体験活動を行いました。 季節の制作や行事は、児童が成功の体験を得られやすいよう配慮、また行事や伝統が児童にわかりやすい形で伝わるよう配慮しています。	児童の希望も採用し、平日の連続した活動だけでなく、今後は長期休みでのイベント、季節ごとの行事や制作も取り入れ、活動に変化をつけてまいります。
	13	○		各児童のニーズに合わせて、それぞれの課題を設定しています。 長期休暇など支援時間が長い時は、児童の楽しみも考慮し支援を行っています。	休日や長期休暇に関しては、平日の連続した活動だけでなく、イベント、季節の行事や制作など、児童の意向を配慮した活動も取り入れられるように工夫してまいります。
	14	○		午前中に個別活動、午後は集団活動と、適宜、支援計画や児童の状況を把握しながら、その時に合った活動を選択しています。	今後もその児童に必要な活動内容であるかどうかを十分に勘案し、支援計画を作成してまいります。
	15	○		前日の振り返りを元に、朝礼時に打ち合わせを行い、役割分担の確認を行っています。	今後も当日の流れ・支援内容や役割分担について情報共有の上、支援に取り組んでまいります。
	16	○		支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	今後も報・連・相を守り、どんな小さなことでも意見を出し、全員で討議し、振り返りを行ってまいります。
	17	○		毎回の活動の記録を取り、情報共有の上、支援に繋げるようにしています。	今後も継続して記録を残し検証や改善に繋げてまいります。
	18	○		定期的にモニタリングを行い、目標の達成状況等を保護者面談に詳しくご説明しています。 保護者様のご意向をお聞きし、児童の現状を考えた上で、見直しや今後の方向性を定めています。	今後も定期的にモニタリングを行って、現状把握や見直しを行う必要性を判断してまいります。
関係機関や保護者との連携	19	○		基本活動を組み合わせ、発達に応じた活動を個々に取り入れ、たくさんの成功体験や自己肯定感を育むように配慮した支援を行っています。	今後もガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせながら、日常生活動作と自立生活を目指し、児童の課題克服への支援ができるようにしていきます。
	20	○		担当者会議には、児童の状況を一番把握している見発管と、その児童と関わり深い職員が同行しています。	今後も同様に継続してまいります。
	21	○		利用開始前や送迎時等に学校の先生方と時間や場所、今後の予定について確認を行っています。 また学校訪問時に様子をうかがい、各種連絡等について確認するように心がけています。	今後も同様に継続してまいります。
	22	○		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっており、児童が受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	○		就学前に利用していた保育所や幼稚園等、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	繋がりを切らさず連絡を取り合い、助言を頂き、児童の課題に向き合い、今後も関係を継続してまいります。
	24	○		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	児童が移行する場合に備えて、今後相談支援事業所、施設等へ保護者様の同意のもと情報提供を行い、移行への準備を進めてまいります。
	25	○		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	今後も助言等を受け、研修にも積極的に参加してまいります。
	26	○		放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	コロナ収束後は、保護者様のご意向を伺いながら地域児童との交流の機会については今後も検討してまいります。
	27	○		(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	今後も同様に積極的に参加してまいります。
	28	○		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	今後も同様に共通理解に努めます。
保護者への説明責任等	29	○		保護者様との日常的な会話の中で、ご相談を受け、児童との関わり方について助言を行っています。	今後もご家族への支援に努めます。
	30	○		契約時に重要事項説明書や利用契約書を通して詳しく説明を行い、納得して頂いています。	今後も分かりやすく丁寧な説明を心がけてまいります。
	31	○		保護者様のお話を丁寧に聞き、事業所での対応事例をお伝えし、また職員間で話し合い、保護者様へ助言を行っています。	今後も同様に対応して参ります。
	32	○		参加型行事を企画し、保護者様同士の交流機会を計画しましたがコロナウイルスの影響で自粛しています。	コロナ収束後は、保護者様のご意向を伺いながら地域児童との交流や保護者様と職員との交流機会等を検討してまいります。
	33	○		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	ご意見や、苦情の連絡先は、契約時や掲示物でお伝えしており、今後ご意見を頂く場合には、迅速丁寧に対応するように体制を整えてまいります。
	34	○		定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	今後も継続して、保護者様へサイトのご案内と毎月の会報誌で情報提供を行って参ります。
	35	○		個人情報の使用や、使用後の処理、保管については細心の注意を払い、厳重に対応しています。	今後も個人情報の取り扱い・管理については細心の注意を払い、安心してサービスをご利用頂けるよう取り組んでまいります。
	36	○		児童の特性に合わせて、分かりやすい情報伝達手段をとり、意思の疎通を図っています。 保護者様にも伝え方や対応について出来る限り相手の立場に立った配慮を行っています。	今後も情報伝達がスムーズに行えるよう、意思疎通と、情報伝達に配慮してまいります。
	37	○		児童の特性に合わせて、分かりやすい情報伝達手段をとり、意思の疎通を図っています。 保護者様にも伝え方や対応について出来る限り相手の立場に立った配慮を行っています。	コロナウイルスの影響に配慮しながら、保護者様のご意向をうかがい療育に影響のない範囲で企画・運営の検討を行ってまいります。
	非常時の対応	38	○		わかりやすいように、マニュアルを入り口付近に移動し、掲示しました。 また、各種マニュアルは、契約時に詳しく説明を行っています。
39		○		定期的に児童も参加して訓練を行い災害に備えています。	今後も継続して定期的（半年に1回以上）訓練を行ってまいります。
40		○		外部の虐待防止職員の研修にも必ず参加し、参加した職員が事業所内研修で周知を行っています。	今後とも、虐待防止への研修や討議は続け、研鑽に努めてまいります。
41		○		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護するために、やむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者の同意を得ることとしています。	今後も原則として身体拘束を行わない基本姿勢を守り、やむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様からの同意を得た上で支援計画にも記載してまいります。
42		○		現在、食物アレルギーのある児童はいませんが、保護者様からの聞き取りの情報を全職員で共有し、万一の場合には医師の指示に基づき対応が行えるよう徹底しています。	医師の指示を順守し、周知を徹底し、都度振り返り、食物の提供を行う場合には細心の注意を払います。
43		○		都度記録を残し、ヒヤリハット報告書は全職員で閲覧し、確認、共有、検証を行っています。	事故はほんの少しの油断から起こりえる事象なので、少しでもやり取りした場合は今後も必ず報告書を作るよう心掛けます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。